

意見交換

委員

- ・山の会議（仮）のお手伝いを今年度からしている。
- ・全県にわたって、皆が自分事としてこの緑化フェアに関わるようなものになってほしい。
- ・一番大事なことは機運醸成で、佐賀県全体としてお客様をお迎えしたり、これから緑と花があふれる佐賀県にしていくというのを皆さんに広げていくような緑化フェアになったら良いと思う。
- ・説明にあった3公園（吉野ヶ里歴史公園、佐賀城公園、森林公園）に行ったことのない県民はほとんどいないため、3公園がこの緑化フェアで、如何に変わるか、そして続いていくかというところが大きなポイントである。
- ・佐賀の街並みを歩いていると、ボランティアで整備されている花壇やオープンガーデンがあったり、吉野ヶ里で花とみどりの市があったりする。様々なイベントがあることを点々ではなく、繋げていくような取組ができれば良い。

委員

- ・緑化フェアが一過性のものでなく、住民一人一人が緑化フェアをきっかけに、「よかったな」「佐賀県っていいまちだな」「いい県だな」と思えるような取組にしていくことが必要。
- ・佐賀県の中に公園整備がされていて、それをどう結び付けていくのか、周遊させていくのかというときに、佐賀駅から佐賀城公園までの30分の距離を歩いて苦痛がないように、「歩こう佐賀」等のアプリ（SAGATOCO）と連携させながらウェルビーイング高めつつ、緑化フェアと繋げることで、継続性のある取組みになると思う。
- ・佐賀県の紹介の中で緑は伝わったが、花があまりないのが気になった。花がある方が華やかになるし、散歩していても心が落ち着く。他の緑化フェアは花をメインに見に来ている写真が沢山あるため、緑化フェアを通して、四季折々な花を目に触れるような整備ができると良い。

座長

- ・ウェルビーイングに繋げていくというのが今の時代に大事。キーワードになってくる。
- ・山というテーマが出ているので、花をどのように取り入れていくかもテーマと思う。

委員

- ・広場はマーケティングの場と思っており、いろんな活動が芽生えるような場になったらいいなという思いで色々なまちに関わらせていただいている。
- ・佐賀県は歴史的にみても積み上げていくという文化がすごくあると思う。
- ・公共交通が非常に重要だと思っており、車に乗れなくなっても、公共交通で出かけて行けるような身体と機運をいかに維持していくかということを考えている。
- ・用がない時にこそ街に出かけていきたいような街がどうあるべきか、ということを地元の皆さんと考え、行動していくような活動をしている。
- ・佐賀県は、マイカー社会なのかなと思いきや、鉄軌道は、嬉野温泉駅が新幹線開業されて駅が復活して、あとは玄海町だけが駅ないが、それでも唐津からバスで30分で行けるように、公共交通で全ての市町にアクセス性があるということは、ほんとにすごい事だなと思う。
- ・佐賀のどの街の写真を見ても田んぼや緑が多く、佐賀の力強さを実感した。そもそも緑があるという地域性をどう活かしていくのか。クオリティオブライフを上げ、花を生活に取り入れるという話が素晴らしいが、評価項目をどう作るかが大事。県に関わりやすい県立公園だけでなく、民地の軒先のような取組みは持続性を高め、また、事業性をつくることもできると思う。

座長

- ・今日用がないときにまちにどう出るか、これはすごいキーワード。
- ・これだけカーボンニュートラルの話が出ているなかで、公共交通・マイカー社会のテーマも重要。
- ・民地の軒先のお話のように、「参加してください」という時代から「協働していこう」といった、行政だけでやるのではなく、市民がどう参加していくかという仕組みづくりをどのように継続できるかも大事。

委員

- ・(主には、女性の健康支援の活動をしているが、) 園芸療法士という資格をとり健康づくりと園芸を結び付ける活動を佐賀県で展開しようと考えている。
- ・植物や自然と接点のない生活をしている方達が増えている。引きこもりや、精神疾患で仕事に行けなくなったり、学校に行けなくなったり、子育て中に産後鬱になったりと、自分で自然の中に進んでいけないような方達が増えている。
- ・今回の緑化フェアをきっかけに、いきなりたくさんの方がいるイベントに行こうではなくても、まずは自分の家で植物を育てるきっかけをつくってみたりとか、ひとつの球根を自分で育てていく中で良い効果があったりとか、それで興味を持って散歩に行こう、人が集まっているイベントに参加してみよう、と段階的に活動に参加していくことで、今全く活動できていない人たちをどう巻き込んでいくのかを大事にしていきたいと思う。
- ・今回の緑化フェアの際にもどのくらいの方が緑に全く関心が持てていないのか、関心を持っていたとしても何も行動できていないのか、そういう方たちをどう巻き込んでいくかを数値目標の設定や、現状の調査をして計画に盛り込んでいくことが必要ではないか。
- ・自分がお世話をするに関心を持ってやってみるといって人を増やさないと、この緑化フェアできれいなものをつくり、緑だけを増やしても維持するのが難しいと思う。

座長

- ・インクルージブも重要なテーマになってきているので、色々な方がそこに入りたくなるような仕組み作りが大事。
- ・人との関わり、場所と関わりをどういう風に考えるかも緑化フェアの理念に近いと思う。こういったことも盛り込めるとよい。

委員

- ・生産者の数が毎年減少していて、高齢化や採算があわなくて先行投資したおかげで経営が成り立たなくなったという事業者が出てきている。消費が盛り上がらないと、生産する側からすれば非常に先が読めない。後継者、息子がいても後継ぎをさせたくないという生産者が非常に多い。花屋さんに関しても同じ状況があるので、なかなか自分の苦勞をさせたくないという生産者や花屋も多い。緑化フェアをきっかけに消費や、県内の皆さんの花に関する思いが盛り上がってもらえれば助かると思う。

座長

- ・例えば神戸や福岡で、全国で花のまちづくりが盛んになってきている。花を使った園芸療法はもちろん、ウェルビーイング等、まちづくりの持続性に繋がっていると思う。
- ・九州は花の生産地ではあるが、消費地としては弱いといわれている。花をどう使っていくかをこの緑化フェアで皆さんに知ってもらうことで生活が豊かになる。
- ・緑化フェアは観光にも繋がるので、経済と繋がっているということを認識したうえで、緑化フェアの構想を立てて欲しい。

委員

- ・観光で人が求めているものが変わってきている。また、実際の緑化フェアのときの受入れはあるのかと思っている。
- ・昨今、観光は物的消費から体験消費に変わってきている。佐賀が目指すべき佐賀らしさを含めて、良いところを佐賀で作っていくことは緑化フェアに通じるのではないか。
- ・冒頭にあった「明日のために今つくろうという」言葉もとても身に沁みた。観光部分は組織的にやることも必要で、一人一人が取り組むことも重要である。今回の緑化フェアで佐賀らしさを考えつつ、どう次につなげていけるかを観光の視点で考えていただきたい。

委員

- ・森川海人っというテーマは佐賀県が推し進めているが、この思想については素晴らしい。広い意味で考えると、気候変動への対応とか、生物多様性の確保、ウェルビーイングの向上、そういったことにも広い意味では繋がっていく大きなテーマだという風に思っている。
- ・緑化フェアによって花と緑を活かすことで、住んでいる人達を活かすことに繋がり、生活、営みにも繋がっていく。その結果、県内の産業や、経済界にも、何かしらの恩恵があることで、次の世代に向けて持続可能なことに繋がっていくと思う。
- ・12、13 頁の図は外側が山の博覧会、内側が全国都市緑化フェアとなっているが、関連性や位置づけはどのようになっているのか。

事務局

- ・山の博覧会は山の取り組みの発表の場として位置付けている。どのような形になるかはまだお答えできない。理念は「森川海人っ」という一つの大きな理念で一緒である。

座長

- ・12 頁は山の博覧会のなかに都市緑化フェアが入っていて、13 頁は並挙されているという構図が分かりにくい所がある。どのような背景で、こういう風にやろうかというところは、ご意見をだして頂くうえで大事なことである。最終的に市民の皆様、県民の皆様にこれをお知らせしていく段階では、山の博覧会と一緒にやるけど、こういう風な関係性だよっていうことをしっかりお伝えいただけるような準備していただきたい。
- ・前のものに囚われすぎないことが大事。
- ・皆さんのお話にあった、まちづくりや地域づくり、人づくり、佐賀らしさといったキーワードを盛り込んでいただきたい。
- ・一過性で終わっているフェアもあると感じている。緑化フェアの時だけ凄いけど、その後何をどう残すかが大事。フェア会場の施設の再整備やこれを機に、県営公園だけでなく他の市町村が公園整備をやっていくことに繋がっていくと良い。
- ・人づくりを盛り込んでいただきたい。使われていない公園を活用できるような仕組みを学校と連携して、花や緑を違う視点で楽しみ、学ぶことが出来れば良いのでは。サテライト会場として小学校や駅前も良いと思う。
- ・民間に手を挙げていただき、店の前にお花を飾り、県が表彰するような仕組みも花のまちづくりにつながっていく。
- ・春開催と秋開催を検討していく中で、春は福岡で一人一花スプリングフェス、海ノ中道でイベントがあるので、花の取り合いになる。また、秋は台風のリスクがあるので避けているという話があるが、相乗効果として春開催でも良いと考えている。

- ・佐賀は多様な歴史を公園の中で見ることができる。時間軸を意識し構想を入れていただきたい。
- ・佐賀には山や海、クリークといった自然を感じることができる。良い意味で残っていると思うので、如何に活用するかを考えていただきたい。

委員

- ・全県にまたがって開催、発信することは、佐賀県から発信することに繋がっていく。次に繋がる種を残すという意味で、色んな地点に会場を考えていただきたい。

座長

- ・唐津等の北側や、伊万里等の山側も重要である。佐賀には魅力があるが、まとめて発信できていないと感じているので、緑という大きなキーワードに乗っけて外に発信していただきたい。

オブザーバー

- ・山の博覧会は県内全体でやるが、緑化フェアも県内全体にその雰囲気が伝わるようなサブ会場等をプロットしていきたいと考えている。